科目名	言語知識　文法A				
科目名(英)					
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	横地　知子
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験	
対象学科・学年	国際ホテル・リゾート科　1年				
授業概要	日本語で自分の言いたいことが伝わる文を作ったり、必要な情報を的確に読み取ったりするために、文法知識は欠かせない。日本での就労を希望する外国人には日本語能力試験N2以上の日本語力が求められるため、この授業では、実際に日本で生活し、働く場面を想定した例文を多く使いながら、文法を学んでいく。最終的にはJLPTN2の合格を目指す。				
授業形式	講義:　○	演習:　△	実習:	実技:	※　主たる方法:○　その他:△

学習目標（到達目標）

言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
○	○				文の内容にあった文法形式を使って文を作ることができる。
○	○				N2レベルの文法を使い、統語的に正しく、意味が通る文章を組み立てることができる。
○	○				N2レベルの文法の中から、文章の流れや表現意図に合ものを選び取り使うことができる。
○	○		○		習得した文法を、意図に合う形で会話や記述文に、運用できる。

テキスト・教材 参考図書

・佐々木仁子、松本紀子 『日本語総まとめN2　文法』 アスク出版　2018年
・友松悦子・和栗雅子 『中級日本語文法要点整理ポイント20』 スリーエーネットワーク　2007年（参考）
・「BJTビジネス日本語能力テスト模試と対策」 キャプラン株力会社　2021年（参考）

回数	授業項目・内容	授業外学修指示
1	日本語総まとめN2　第8週　接続詞 1日目 それなのに、それでも、それなら、それで（逆接、順接、理由等） 2日目　それが、そこで、そういえば、それはそうと（理由、話題転換、順接等） 3日目　すなわち、あるいは、だが、だって（言い換え、選択、逆接、理由）	テキスト内の語彙の予習、復習（0.5時間） 学習項目の文法の復習（0.5時間）
2	4日目　ということは、というのは、したがって、ただし（理由、例外的条件等） 5日目　もっとも、なお、さて、すると （条件、順接等） 6日目　要するに、しかも、おまけに、ちなみに（参考、条件、説明添加等）	テキスト内の語彙の予習、復習（0.5時間） 学習項目の文法の復習（0.5時間）
3	日本語総まとめN2　第1週 1日目 様子、傾向の意味を加える言葉　接尾辞（げ、がち、っぽい、気味） 2日目「もの」を使った表現 3日目　助詞の働きをする言葉（はもとより、はともかく、はまだしも、は抜きにして）	テキスト内の語彙の予習、復習（0.5時間） 学習項目の文法の復習（0.5時間）
4	4日目　話者の感覚や強い気持ちを伝える表現 てたまらない てしょうがない/てしかたない てかなわない でならない 5日目　ないことはない ないこともない ないではいられない ずにはいられない 6日目　ねばならない てはならない　ていられない でばかりはいられない	テキスト内の語彙の予習、復習（0.5時間） 学習項目の文法の復習（0.5時間）
5	日本語総まとめN2　　第2週 1日目　主観を含めて説明する表現（のかいがあって、のかいもなく、てまで）接尾辞（かい） 2日目　動詞の意味を広げる言葉（かける、切る、える/うる、ぬく） 3日目　複文を作る言葉（うちに、か～ないかのうちに、限り、に限り）	テキスト内の語彙の予習、復習（0.5時間） 学習項目の文法の復習（0.5時間）
6	4日目　強調や程度を大きいことを表す助詞の働きをする言葉 （さえ～ば、からこそ、てこそ、ばかりだ） 5日目　複文を作る言葉　条件（～にしたら、～としたら、～としても）を～として 6日目　複文を作る言葉　連動（～とともに、～にともなって、～につれて、～にしたがって）	テキスト内の語彙の予習、復習（0.5時間） 学習項目の文法の復習（0.5時間）
7	復習　第8週、第1週、第2週　7日目	間違えた箇所の再復習（1時間）
8	日本語総まとめN2　第3週 1日目　複文を作る言葉　とおり、ままに、ことに、のあまり（原因・理由等） 2日目　文末表現「わけ」を使った表現 3日目　複文を作る言葉、たとたん、たあげく、た末、と思ったら	テキスト内の語彙の予習、復習（0.5時間） 学習項目の文法の復習（0.5時間）
9	4日目「ところ」を使った表現 5日目　様子や傾向の意味を加える言葉 接尾辞（だらけ、ったきり、っきり、っぱなし） 6日目　複文を作る言葉（に反して、反面、一方、）	間違えた箇所の再復習（1時間）
10	日本語総まとめN2　第4週 1日目「上」を使った表現(上に、上で、上は、上では) 2日目 接尾辞～向け/向き 「次第」を使った表現（次第で、次第、次第だ） 3日目　助詞の働きをする言葉（にこたえて、に対して、により、にかかわって）	テキスト内の語彙の予習、復習（0.5時間） 学習項目の文法の復習（0.5時間）

授業計画	11	4日目　同時進行（ながら、つつ、つつある）　非難する表現（くせして） 5日目話者の感覚や強い気持ちを伝える表現 （べきではない、ざるをえない、ことになっている、にすぎない） 6日目　助詞の働きをする言葉（にあたり、にそって、に先立ち） 行動の基準や時点、範囲を表す　（にわたり）	テキスト内の語彙の予習、復習（0.5時間） 学習項目の文法の復習（0.5時間）
	12	日本語総まとめN2　第5週 1日目　話者の否定的判断を表す言葉（っこない、かねない、かねる、がたい） 2日目「こと」を使った表現（ことから、ことだから、ことなく、ないことには～ない） 3日目　話者の判断を表す表現（て当然だ、のももっともだ、も同然だ、だけましだ）	テキスト内の語彙の予習、復習（0.5時間） 学習項目の文法の復習（0.5時間）
	13	確認テスト①　フィードバック	間違えた箇所の再復習（1時間）
	14	4日目　助詞の働きをする言葉　～だけあって　～ばかりか、～も （た形）ばかりに　～のみならず～でも 5日目　話者の意志、感覚を表す表現 ～ではないか　～ようがない　～かのようだ　～そうにない 6日目　助詞の働きをする言葉　～に際して　～に基づいて ～に応じて　～の下で	テキスト内の語彙の予習、復習（0.5時間） 学習項目の文法の復習（0.5時間）
	15	日本語総まとめN2　第6週 1日目　複文を作る言葉（て以来、以上、からには、折には） 2日目　複文を作る言葉（から言うと、からすると、からして、から見ると） 3日目　からといって、てからでないと、から～にかけて、にかけては	テキスト内の語彙の予習、復習（0.5時間） 学習項目の文法の復習（0.5時間）
	16	4日目　話者からの発信の表現（とか、まい、か～まいか） 5日目　文末表現（に決まっている、とは限らない、よりほかない、にほかならない） 6日目　助詞の働きをする言葉（をはじめ、をめぐって、において、にて）	テキスト内の語彙の予習、復習（0.5時間） 学習項目の文法の復習（0.5時間）
	17	復習　第3週、第4週、第5週　7日目	テキスト内の語彙の予習、復習（0.5時間） 学習項目の文法の復習（0.5時間）
	18	日本語総まとめN2　第7週 1日目　複文を作る言葉（もかまわず、にもかかわらず、にかかわらず、を問わず） 2日目　繰り返す表現　（～やら～やら、～につけ～につけ、～にしろ～にしろ、～にせよ～にせよ、も～ば～も） 3日目　「もの」を使った表現（ものだ、ものではない、というものだ、ものか）	テキスト内の語彙の予習、復習（0.5時間） 学習項目の文法の復習（0.5時間）
	19	日本語総まとめN2　第7週 4日目　（を中心に、をこめて、を通じて、を頼りに） 5日目　話者の感覚を表す言葉（恐れがある、ものがある、は～というものでもない、とうにか～ないものか） 6日目　助詞の働きをする言葉（～をもとに、～につき、～をきっかけに、～の際に）	テキスト内の語彙の予習、復習（0.5時間） 学習項目の文法の復習（0.5時間）
	20	復習　第6週、第7週、7日目	テキスト内の語彙の予習、復習（0.5時間） 学習項目の文法の復習（0.5時間）
	21	苦手な分野の復習①　（文法形式の判断、敬語や会話形式、並べ替え）	間違えた箇所の再復習（1時間）
	22	苦手な分野の復習②　（文章の文法）	間違えた箇所の再復習（1時間）
	23	ビジネス場面のN2文法①敬語（尊敬語）	テキスト内の語彙の予習、復習（0.5時間） 学習項目の文法の復習（0.5時間）
	24	ビジネス場面のN2文法②敬語（謙譲語）	テキスト内の語彙の予習、復習（0.5時間） 学習項目の文法の復習（0.5時間）
	25	苦手な分野の復習③（指示詞）	テキスト内の語彙の予習、復習（0.5時間） 学習項目の文法の復習（0.5時間）
	26	N2　総復習　第1週～2週	間違えた箇所の再復習（1時間）
	27	N2　総復習　第3週～4週	間違えた箇所の再復習（1時間）
	28	N2　総復習　第5週～6週	間違えた箇所の再復習（1時間）
	29	N2　総復習　第7週～8週	間違えた箇所の再復習（1時間）
	30	N2　総復習　苦手な分野の復習④（総まとめ各週7日目より）	間違えた箇所の再復習（1時間）

評価方法

（1）前期末に定期試験を実施　（2）小テストを15回実施　（3）確認テストを1回実施
以上を下記の観点・割合で評価する。
成績評価基準は、S（90点以上）・A（80点以上）・B（70点以上）・C（60点以上）・D（60点未満）とする。

	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
定期試験	◎	◎				50%
小テスト	◎	○		○		40%
確認テスト	○	◎		○		10%

履修上の注意

出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。

科目名	言語知識　文字語彙A				
科目名(英)	Japanese Character and Vocabulary A				
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	秋本佐代子
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験	
対象学科・学年	国際ホテル・リゾート科　1年				
授業概要	日本語能力試験N2に合格するためにはまず、語彙の量を増やすことが大切である。この授業では、N2レベルで求められる一般的な話題に関する会話や読み物を理解するために必要な語彙を中心にその意味や使い方を学ぶ。漢字の読み方や書き方、漢字の言葉に接尾辞や接頭辞をつけるルール、2つの言葉をつないだ複合動詞についてその意味や運用方法を学ぶ。N2の練習問題を多く解くことで文字語彙力を強化し、N2合格を目指す。				
授業形式	講義:　○	演習:　△	実習:	実技:	※　主たる方法:○　その他:△

学習目標（到達目標）

言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
○	◎				前後の文脈に合った適切な語彙を使うことができる。
○	◎				一つの語を同じ、あるいは、意味の近い他の表現に置き換えることができる。
○	◎				N2レベルの漢字語彙に適切な接頭辞や接尾辞をつけることができる。
○					N2レベルの漢字の読み書きができる。
○	◎				N2レベルの漢字の意味が説明できる。

テキスト・教材 参考図書

佐々木仁子・松本紀子『日本語総まとめN2語彙』、『日本語総まとめN2漢字』 アスク出版　2018年
五十嵐香子・佐藤茉奈花・金澤美香子・杉山舞・植村有里沙『全科目攻略！JLPT日本語能力試験ベスト総合問題集N2』 ジャパンタイムズ出版　2021年
アスク出版日本語編集部 『はじめての日本語能力試験 合格模試 N2』 アスク出版　2020年

授業計画

回数	授業項目・内容	授業外学修指示
1	第1週　楽しく暮らしていますか？	今日学んだ語彙を音読しながらノートに書いて覚える。(1時間)
2	第1週の復習	今日学んだ語彙を音読しながらノートに書いて覚える。(1時間)
3	第2週　仕事は順調ですか	今日学んだ語彙を音読しながらノートに書いて覚える。(1時間)
4	第2週の復習	今日学んだ語彙を音読しながらノートに書いて覚える。(1時間)
5	第3週　いろいろ表現しましょう	今日学んだ語彙を音読しながらノートに書いて覚える。(1時間)
6	第3週の復習	今日学んだ語彙を音読しながらノートに書いて覚える。(1時間)
7	第4週　副詞をたっぷり覚えましょう	今日学んだ語彙を音読しながらノートに書いて覚える。(1時間)
8	第4週の復習	今日学んだ語彙を音読しながらノートに書いて覚える。(1時間)
9	第1～4週の復習テスト	テストで間違えた語彙を中心にノートに書いて復習する。(1時間)
10	第5週　やさしい漢字で書きますが	今日学んだ語彙を音読しながらノートに書いて覚える。(1時間)
11	第5週の復習	今日学んだ語彙を音読しながらノートに書いて覚える。(1時間)
12	第6週　カタカナ語と似ている言葉	今日学んだ語彙を音読しながらノートに書いて覚える。(1時間)
13	第6週の復習	今日学んだ語彙を音読しながらノートに書いて覚える。(1時間)
14	第7週　意味がたくさんある言葉と接辞	今日学んだ語彙を音読しながらノートに書いて覚える。(1時間)
15	第7週の復習	今日学んだ語彙を音読しながらノートに書いて覚える。(1時間)
16	第8週　組み合わせの言葉とよく使われる表現	今日学んだ語彙を音読しながらノートに書いて覚える。(1時間)
17	模擬試験	テストでわからなかった語彙を中心にノートに書いて復習する。(1時間)
18	第8週の復習	今日学んだ語彙を音読しながらノートに書いて覚える。(1時間)
19	第5～8週の復習テスト	テストで間違えた語彙を中心にノートに書いて復習する。(1時間)
20	漢字読み・表記	今日学んだ語彙を音読しながらノートに書いて覚える。(1時間)
21	語形成・文脈規定	今日学んだ語彙を音読しながらノートに書いて覚える。(1時間)
22	言い換え類語・用法	今日学んだ語彙を音読しながらノートに書いて覚える。(1時間)
23	カタカナ語入力	今日学んだカタカナ語をもう一度音読しながら入力練習する。(1時間)
24	漢字の入力	今日学んだ漢字の言葉をもう一度音読しながら入力練習する。(1時間)

	25	総まとめの漢字（1～4週）	今日学んだ語彙を音読しながらノートに書いて覚える。（1時間）
	26	総まとめの漢字（5～8週）	今日学んだ語彙を音読しながらノートに書いて覚える。（1時間）
	27	合格模試の復習（漢字読み・表記）	今日学んだ語彙を音読しながらノートに書いて覚える。（1時間）
	28	合格模試の復習（語形成・文脈規定）	今日学んだ語彙を音読しながらノートに書いて覚える。（1時間）
	29	合格模試の復習（言い換え類語・用法）	今日学んだ語彙を音読しながらノートに書いて覚える。（1時間）
	30	総復習	正試験に向けて全体を復習する。（1時間）

評価方法

（1）授業の中で小テストを計4回実施する。（2）前期試験（筆記）を実施する。（3）模擬試験1回実施する
以上を下記の観点・割合で評価する。
成績評価基準は、S（90点以上）・A（80点以上）・B（70点以上）・C（60点以上）・D（59点以下）とする。

	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
定期試験	○	◎				50%
復習テスト	○	◎				30%
模擬試験（言語知識）	○	◎				20%

履修上の注意

出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。
テキスト持参のこと。忘れた場合は、授業前までにコピーをしておくこと。

科目名	日本事情A				
科目名(英)					
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	横地　知子
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験	
対象学科・学年	国際ホテル・リゾート科　1年				
授業概要	日本で就労するためには、日本語能力試験N2以上の力が求められる。この授業ではN2合格を目指して読解の分野に関わる授業を行う。授業では文章理解の基礎となる接続表現、指示語、機能語などのポイントをおさえながら、文章構造を理解し内容把握や必要な情報検索ができることを目標とする。また、JLPTと同様の形式の問題を解き、文章を読む前の内容予測や、読んだ後の正確な解答方法を身につけられるよう指導する。取り扱った文章の中から、日本の文化や日本事情についても同時に学び、母国との違いや類似点について気づきの機会を持つ。				
授業形式	講義:　○	演習:　△	実習:	実技:	※　主たる方法:○　その他:△

学習目標（到達目標）

言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
○	○				幅広い話題について書かれた論旨が明快な文章を読んで内容を説明できる。
○	○				比較的平易な内容の評論、解説、エッセイを読み因果関係、概要、筆者の考えを述べることができる。
○	○				一般的な話題に関する内容の複数のテキストを比較・統合しながら、読み比べることができる。
○	○				論理展開が比較的明快な評論などの長文を読み、話の流れや、表現意図を説明することができる。
○	○				情報素材から必要な情報を挙げることができる。

テキスト・教材 参考図書

・安藤栄里子・足立尚子 『必ずできる！　JLPT「読解」N2』 アルク　2020年

授業計画

回数	授業項目・内容	授業外学修指示
1	Step 1　Level1　ウォーミングアップ1，2，3（指示詞、語彙の理解）	復習（0.5時間）、宿題をやること（0.5時間） テキストの語彙の意味を調べ覚える（0.5時間）
2	Step 1　Level1　ウォーミングアップ4，5，6（文法、短文理解）	復習（0.5時間）、宿題をやること（0.5時間） テキストの語彙の意味を調べ覚える（0.5時間）
3	Step 1　Level2　練習問題1日目、2日目、3日目 （短文内容理解、箇条書き）	復習（0.5時間）、宿題をやること（0.5時間） テキストの語彙の意味を調べ覚える（0.5時間）
4	Step 1　Level2　練習問題4日目、5日目、6日目 （内容理解、統合理解、グラフ）	復習（0.5時間）、宿題をやること（0.5時間） テキストの語彙の意味を調べ覚える（0.5時間）
5	Step 1　Level2　練習問題7日目、8日目、9日目 （内容理解、統合理解）	復習（0.5時間）、宿題をやること（0.5時間） テキストの語彙の意味を調べ覚える（0.5時間）
6	Step 1　Level2　練習問題10日目（主張理解、内容理解） Step 2　Level3　ウォーミングアップ7,8日目（接続詞、副詞、文末表現）	復習（0.5時間）、宿題をやること（0.5時間） テキストの語彙の意味を調べ覚える（0.5時間）
7	Step 2　Level4　練習問題11日目、12日目、13日目 （接続詞、内容理解、統合理解、情報検索）	復習（0.5時間）、宿題をやること（0.5時間） テキストの語彙の意味を調べ覚える（0.5時間）
8	確認テスト　フィードバック	復習（0.5時間）、宿題をやること（0.5時間） テキストの語彙の意味を調べ覚える（0.5時間）
9	Step 2　Level4　練習問題13日目～16日目（内容理解、主張理解、統合理解）	復習（0.5時間）、宿題をやること（0.5時間） テキストの語彙の意味を調べ覚える（0.5時間）
10	Step 3　Level5　ウォーミングアップ9,10（内容理解、文法、文末表現） Level6　練習問題17日目（接続詞、内容理解）	復習（0.5時間）、宿題をやること（0.5時間） テキストの語彙の意味を調べ覚える（0.5時間）
11	Step 3　Level6　統合理解　練習問題18日目、19日目	復習（0.5時間）、宿題をやること（0.5時間） テキストの語彙の意味を調べ覚える（0.5時間）
12	Step 3　Level6　練習問題20日目	復習（0.5時間）、宿題をやること（0.5時間） テキストの語彙の意味を調べ覚える（0.5時間）
13	Step 3　Level6　練習問題21日目	復習（0.5時間）、宿題をやること（0.5時間） テキストの語彙の意味を調べ覚える（0.5時間）
14	Step 3　Level6　練習問題22日目	復習（0.5時間）、宿題をやること（0.5時間） テキストの語彙の意味を調べ覚える（0.5時間）
15	Step 3　総復習	定期試験に備えて復習を行う。（1時間）

評価方法

(1)定期試験（筆記）を実施する。（2）確認テストを1回実施する。（3）小テストを5回実施する。
以上を下記の観点・割合で評価をする。
成績評価基準は、S（90点以上）・A（80点以上）・B（70点以上）・C（60点以上）・D（59点以下）とする。

	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
定期試験	○	◎				50%
確認テスト・小テスト	○	◎		○		20%
小テスト	○	○		○		30%

履修上の注意

出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。

科目名	日本語表現A				
科目名(英)					
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	横地　知子
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験	
対象学科・学年	国際ホテル・リゾート科　1年				
授業概要	自然に近いスピードの、まとまりのある会話や説明を聞いて、話の流れや内容、登場人物の関係を理解したりできるように様々な場面での聴き取りの練習を行う。日本語能力試験対策として、N2文法や語彙、会話表現などの確認をしながら、試験の問題形式に合わせた練習を行う。また、聞き取った表現を実際の場面で使えるよう指導する。				
授業形式	講義:　○	演習:　△	実習:	実技:	※　主たる方法:○　その他:△

学習目標（到達目標）

言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
○	○				自然に近いスピードのまとまりのある会話を聞いて、次に取るべき行動が予測できる。
○	○				ポイントを絞って必要な情報を聞き取ることができる。
○	○				質問などの短い発話を聞いて、適切な応答ができる。
○	○				長めの会話や説明を聞いて、複数の情報を比較統合しながら、内容が説明できる。
	○		○		学んだ表現を使って、場面にあった会話ができる。

テキスト・教材 参考図書

・佐々木仁子、松本紀子 『日本語総まとめN2　聴解』 アスク出版　2018年
・日本語テスト研究会 『日本語能力試験　N2模試』 UNICOM　2013年　他

授業計画

回数	授業項目・内容	授業外学修指示
1	1章　1　発音に関する聞きとり 2　文法に関する聞き取り①	間違えたところはCDで聞き直す。(0.5時間) 難しい語彙や文法はｽｸﾘﾌﾟﾄでﾁｪｯｸする。(0.5時
2	1章　3　文法に関する聞き取り② 4　会話表現	間違えたところはCDで聞き直す。(0.5時間) 難しい語彙や文法はｽｸﾘﾌﾟﾄでﾁｪｯｸする。(0.5時
3	1章　5　まとめの問題 3章　1　指示や説明を聞こう	間違えたところはCDで聞き直す。(0.5時間) 難しい語彙や文法はｽｸﾘﾌﾟﾄでﾁｪｯｸする。(0.5時
4	3章　2　会話を聞こう 3　電話の会話やメッセージを聞こう	間違えたところはCDで聞き直す。(0.5時間) 難しい語彙や文法はｽｸﾘﾌﾟﾄでﾁｪｯｸする。(0.5時
5	3章　4　意見や感想を聞こう 5　まとめの問題	間違えたところはCDで聞き直す。(0.5時間) 難しい語彙や文法はｽｸﾘﾌﾟﾄでﾁｪｯｸする。(0.5時
6	2章　1　即時応答 2　課題理解	間違えたところはCDで聞き直す。(0.5時間) 難しい語彙や文法はｽｸﾘﾌﾟﾄでﾁｪｯｸする。(0.5時
7	2章　3　ポイント理解 4　概要理解	間違えたところはCDで聞き直す。(0.5時間) 難しい語彙や文法はｽｸﾘﾌﾟﾄでﾁｪｯｸする。(0.5時
8	確認テスト①(1章～3章)フィードバック	間違えたところはCDで聞き直す。(0.5時間) 難しい語彙や文法はｽｸﾘﾌﾟﾄでﾁｪｯｸする。(0.5時
9	2章　5統合理解①　　6統合理解②	間違えたところはCDで聞き直す。(0.5時間) 難しい語彙や文法はｽｸﾘﾌﾟﾄでﾁｪｯｸする。(0.5時
10	4章　1　町で　2　気象情報・交通情報	間違えたところはCDで聞き直す。(0.5時間) 難しい語彙や文法はｽｸﾘﾌﾟﾄでﾁｪｯｸする。(0.5時
11	4章　3キャンパスで　4　いろいろな場面で	間違えたところはCDで聞き直す。(0.5時間) 難しい語彙や文法はｽｸﾘﾌﾟﾄでﾁｪｯｸする。(0.5時
12	2章　7まとめ問題 4章　5まとめ問題	間違えたところはCDで聞き直す。(0.5時間) 難しい語彙や文法はｽｸﾘﾌﾟﾄでﾁｪｯｸする。(0.5時
13	5章　総まとめ問題	間違えたところはCDで聞き直す。(0.5時間) 難しい語彙や文法はｽｸﾘﾌﾟﾄでﾁｪｯｸする。(0.5時
14	確認テスト②(4章・5章)フィードバック	間違えたところはCDで聞き直す。(0.5時間) 難しい語彙や文法はｽｸﾘﾌﾟﾄでﾁｪｯｸする。(0.5時
15	総復習(レベルチェック＋フィードバック)	間違えたところはCDで聞き直す。(0.5時間) 難しい語彙や文法はｽｸﾘﾌﾟﾄでﾁｪｯｸする。(0.5時

評価方法

(1)確認テスト　2回　　(2)定期試験(筆記試験)
以上を下記の観点・割合で評価する。
成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。

	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
定期試験	○	◎				50%
確認テスト	○	◎		○		50%

履修上の注意

出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。

科目名	ビジネス日本語A				
科目名(英)	Business Japanese A				
単位数	2	時間数	30	担当者	秋本佐代子
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験	
対象学科・学年	国際ホテル・リゾート科1年				
授業概要	ビジネス、接遇場面における日本語表現やマナー、立ち居振る舞いを学び、職場において、日本人と円滑なコミュニケーションがとれるようになることを目指す。基本会話の音読や文型練習で基礎を定着させ、ロールプレイでは動きも取り入れながら応用力を鍛えていく。				
授業形式	講義:　○	演習:　△	実習:	実技:	※ 主たる方法:○　その他:△

学習目標（到達目標）

言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
○	○				ビジネス用語を読み書きすることができる。
○	○				丁寧なことばに変える日本語のしくみを説明できる。
	○	○			ビジネス表現を、動作と共に適切なタイミングで使うことができる。
	○		○		基本を参考にしながら、短いビジネス会話文を作ることができる。
	○				あいさつと電話での日本のビジネスマナーについて、簡単に説明できる。

テキスト・教材 参考図書

宮崎道子・郷司幸子 『にほんごで働く ビジネス日本語30時間』 スリーエーネットワーク（2019年）

授業計画

回数	授業項目・内容	授業外学修指示
1	1. 紹介する（ことば）	テキストの言葉と表現を音読しながらノートの写して覚える。（1時間）
2	1. 紹介する（談話）	テキストの言葉と表現を音読しながらノートの写して覚える。（1時間）
3	1. 紹介する （会話・練習）	テキストの言葉と表現を音読しながらノートの写して覚える。（1時間）
4	1. 紹介する（練習・ロールプレイ）	テキストの言葉と表現を音読しながらノートの写して覚える。（1時間）
5	2. あいさつをする（小テスト・ことば）	テキストの言葉と表現を音読しながらノートの写して覚える。（1時間）
6	2. あいさつをする（談話・会話）	テキストの言葉と表現を音読しながらノートの写して覚える。（1時間）
7	2. あいさつをする（練習・ロールプレイ）	テキストの言葉と表現を音読しながらノートの写して覚える。（1時間）
8	3. 電話をかける（小テスト・ことば）	テキストの言葉と表現を音読しながらノートの写して覚える。（1時間）
9	3. 電話をかける（会話のチャート練習）	テキストの言葉と表現を音読しながらノートの写して覚える。（1時間）
10	3. 電話をかける（談話・会話）	テキストの言葉と表現を音読しながらノートの写して覚える。（1時間）
11	3. 電話をかける（練習・ロールプレイ）	テキストの言葉と表現を音読しながらノートの写して覚える。（1時間）
12	4. 注意をする（小テスト・ことば）	テキストの言葉と表現を音読しながらノートの写して覚える。（1時間）
13	4. 注意をする（談話・会話）	テキストの言葉と表現を音読しながらノートの写して覚える。（1時間）
14	4. 注意をする（小テスト・練習・ロールプレイ）	これまでの言葉と表現の中で、自分が苦手なものをノーとに書いて復習する。（1時間）
15	実演テスト・前期の復習	1～4課までの表現と言葉を復習する。（1時間）

評価方法

1）定期試験（筆記）、 2）授業内で小テストを4回、 3）同じく授業内で実演テストを1回行う。
以上を下記の観点・割合で評価する。
成績評価基準は、S（90点以上）・A（80点以上）・B（70点以上）・C（60点以上）・D（59点以下）とする。

	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
定期試験	◎	◎				40%
小テスト	◎	◎				20%
実演テスト		◎	○	○		40%

履修上の注意

出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。
テキスト持参のこと。忘れた場合は、授業前までにコピーをしておくこと。

科目名	応用日本語A				
科目名(英)					
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	秋本 佐代子・横地 知子
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験	
対象学科・学年	国際ホテル・リゾート科　1年				
授業概要	国際学科卒業後、内部進学し、日本人学生とともに勉強するには、日本語能力試験N2以上の力が必要である。この授業では7月のN2受験合格を目指し、読解と聴解を中心に出題分野別に学んでいく。読解では初見の文章の構造を掴んで内容把握ができるよう、まず学習者が考え、その後、教師が解説をしながら授業を進めていく。聴解では実際のJLPT聴解試験と同様の形式の問題に多く触れ、聞きながら話の流れを予測したり、概要を掴んで正確な解答が導けるよう指導していく。JLPT後は、原稿用紙の使い方、箇条書きやメモ取りなどの書くスキルを高めるよう指導する。				
授業形式	講義:　○	演習:　△	実習:	実技:	※　主たる方法:○　その他:△

学習目標（到達目標）

言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
○	○				文章の構造や指示語が何を示しているか述べることができる。
○	○				一般的な話題について書かれた文章について大意の述べることができる。
○	○				一般的な話題に関する会話やモノローグを聞いて、話の流れや表現が説明できる。
○	○		○		原稿用紙の書き方に従い、出題意図に沿った作文を書くことができる。
	○		○		メモを取って伝言を残したり、箇条書きをしたりすることができる。

テキスト・教材 参考図書

・星野恵子　辻和子　著　『ドリル＆ドリル　N2　聴解・読解』 UNICOM、2019年
・「はじめての日本語能力試験　合格模試N2」 アスク出版　2020年
・JLPT　公式問題集　第一集　N2　国際交流基金（参考）

授業計画

回数	授業項目・内容	授業外学修指示
1	聴解について問題構成を知る。課題理解①	新しい言葉の復習をすること。(0.5時間) スクリプトを読み、言い回しを覚えること。(0.5時間)
2	日本語能力試験N2読解問題の構成を知る。 内容理解(短文)①	新しい言葉の復習をすること。(0.5時間) 文法の復習をすること(0.5時間)
3	聴解　課題理解②	新しい言葉の復習をすること。(0.5時間) スクリプトを読み、言い回しを覚えること。(0.5時間)
4	読解　概要理解（短文）②	新しい言葉の復習をすること。(0.5時間) 文法の復習をすること(0.5時間)
5	聴解　ポイント理解①	新しい言葉の復習をすること。(0.5時間) スクリプトを読み、言い回しを覚えること。(0.5時間)
6	読解　内容理解（中文）①	新しい言葉の復習をすること。(0.5時間) 文法の復習をすること(0.5時間)
7	聴解　ポイント理解②	新しい言葉の復習をすること。(0.5時間) スクリプトを読み、言い回しを覚えること。(0.5時間)
8	読解　内容理解（中文）②	新しい言葉の復習をすること。(0.5時間) 文法の復習をすること(0.5時間)
9	聴解　概要理解①　即時応答①	新しい言葉の復習をすること。(0.5時間) スクリプトを読み、言い回しを覚えること。(0.5時間)
10	読解　内容理解（中文）③	新しい言葉の復習をすること。(0.5時間) 文法の復習をすること(0.5時間)
11	聴解　概要理解②　即時応答②	新しい言葉の復習をすること。(0.5時間) スクリプトを読み、言い回しを覚えること。(0.5時間)
12	読解　統合理解①　情報検索①	新しい言葉の復習をすること。(0.5時間) 文法の復習をすること(0.5時間)
13	聴解　統合理解①	間違った箇所をやり直し、復習すること。(1時間)
14	読解　統合理解②　情報検索②	新しい言葉の復習をすること。(0.5時間) 文法の復習をすること(0.5時間)
15	聴解　統合理解②	新しい言葉の復習をすること。(0.5時間) スクリプトを読み、言い回しを覚えること。(0.5時間)
16	読解　主張理解①	新しい言葉の復習をすること。(0.5時間) 文法の復習をすること(0.5時間)
17	聴解　実力チェックテスト①　および　フィードバック	新しい言葉の復習をすること。(0.5時間) スクリプトを読み、言い回しを覚えること。(0.5時間)
18	読解　実力チェックテスト②　および　フィードバック	新しい言葉の復習をすること。(0.5時間) 文法の復習をすること(0.5時間)
19	聴解　実力チェックテスト③　および　フィードバック	間違った箇所をやり直し、復習すること。(1時間)
20	読解　実力チェックテスト④　および　フィードバック	間違った箇所をやり直し、復習すること。(1時間)
21	読解　主張理解②　及び　苦手分野の復習	新しい言葉の復習をすること。(0.5時間) 文法の復習をすること(0.5時間)
22	聴解　苦手分野の復習	新しい言葉の復習をすること。(0.5時間) 文法の復習をすること(0.5時間)

	23	原稿用紙の書き方（横書き）,段落分け	授業内容の復習をすること（1時間）
	24	読解　文章を読んで段落に分けて書く 文章の構成を考える（並替え）	授業内容の復習をすること（1時間）
	25	読解　丁寧体の文章を普通体で書く。	授業内容の復習をすること（1時間）
	26	聴解　メモ取り（伝言）	授業内容の復習をすること（1時間）
	27	読解　課題を読み、重要なポイントを箇条書きにまとめる。	授業内容の復習をすること（1時間）
	28	読解　課題を読み、意見や意志を表す文章を書く。	授業内容の復習をすること（1時間）
	29	読解　総復習	授業内容の復習をすること（1時間）
	30	聴解　実力チェックテスト⑤　および　フィードバック	フィードバックを行うので、復習すること。（1時間）

評価方法

（1）定期試験（筆記）を実施する。（2）実力チェックテストを5回実施する。（3）作文課題を2回提出すること。
成績評価基準は、S（90点以上）・A（80点以上）・B（70点以上）・C（60点以上）・D（59点以下）とする。

	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
定期試験	○	◎				50%
実力チェックテスト	○	◎		○		30%
課題		◎		◎		20%

履修上の注意

出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。

科目名	実用日本語A				
科目名(英)					
単位数	1単位	時間数	16時間	担当者	秋本 佐代子・横地 知子
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験	
対象学科・学年					
授業概要	中級レベルの日本語学習者を対象に、JLPT　N2の合格を目指し、苦手分野の強化を図る。実際の出題形式に近い問題を数多く解くことにより、N2レベルの目標である「日常的な場面に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができる」レベルへの到達を目指す。				
授業形式	講義:　○	演習:　△	実習:	実技:	※　主たる方法:○　その他:△

学習目標（到達目標）

言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
○	○				文の内容にあった語彙や文法形式を使って文を作ることができる。
○	○				N2レベルの文法項目を使って、統語的に正しく、意味が通る文章を組み立てることができる。
○	○				幅広い話題について書かれた論理が明快な文章を読んで内容を把握することができる。
○	○				広告、パンフレット、情報誌、ビジネス文書などの情報素材の中から必要な情報を探し出すことができる。
○	○				日常場面や幅広い場面での自然に近いスピードでの会話やニュースを聞いて話の流れや内容、登場人物の関係や会話の要旨が把握できる。

テキスト・教材 参考図書

・The Japan Times『全科目攻略!JLPT日本語能力試験ベスト総合問題集N2』 2021年

授業計画

回数	授業項目・内容	授業外学修指示
1	テキスト　第3週　語彙用法　文法　1，2，3日目 第4週　文法1，2日目	間違えたところを復習すること。(0.5時間) 宿題をすること。(1時間)
2	テキスト　第5週　読解(内容理解　短文)1，2，3日目 第6週　読解(内容理解　中文)1，2日目	間違えたところを復習すること。(0.5時間) 宿題をすること。(1時間)
3	テキスト　第3週　語彙用法　文法　4，5日目 第4週　文法3，4，5日目　小テスト	間違えたところを復習すること。(0.5時間) 宿題をすること。(1時間)
4	テキスト　第5週　読解(内容理解　短文)4，5日目 第6週　読解(内容理解　中文)3，4，5日目	間違えたところを復習すること。(0.5時間) 宿題をすること。(1時間)
5	テキスト　第7週　読解(統合理解　主張理解・長文)	間違えたところを復習すること。(0.5時間) 宿題をすること。(1時間)
6	テキスト　第9週聴解　(課題理解　ポイント理解) 第10週聴解　(概要理解)　フィードバック	間違えたところを復習すること。(0.5時間) 宿題をすること。(1時間)
7	テキスト　第8週　読解(情報検索)　小テスト	間違えたところを復習すること。(0.5時間) 宿題をすること。(1時間)
8	テキスト　第11週(即時応答) 第12週聴解(統合理解)フィードバック	間違えたところを復習すること。(0.5時間) 宿題をすること。(1時間)
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

評価方法

(1)授業の中で小テストを2回実施する。 (2)模擬試験の結果 (3)毎回宿題を課す。
以上を下記の観点・割合で評価する。
成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。

	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
模擬試験結果	◎	◎				50%
小テスト	○	○		○		30%
宿題	○	○		◎		20%
発表・作品						

履修上の注意

出席が6回に満たない場合は、評価が受けられない。
問題は、前もって解いておく。解答を写真に撮ってTeamsで送ること。
テキストを忘れたときは、事前に友人から借りてコピーを取っておくこと。

科目名	ホテル概論A				
科目名(英)	Outline of Hotel Industry A				
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	一岡　浩己
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験	外資系ホテル13年勤務
対象学科・学年	国際ホテル・リゾート科　1年				
授業概要	広くホテル全般や取り巻く環境等に関する知識を学ぶ。宿泊、料飲、 宴会の各部門の基礎的な業務の理解を中心に、 業界で働く上で知っておくべき代表的なホテル名や専門用語の習得を目指す。				
授業形式	講義:　○	演習:　△	実習:	実技:	※　主たる方法:○　その他:△

学習目標（到達目標）

言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
○					代表的なホテル名を知り、各ホテルの特徴を考える。
	○				ホテル産業の特徴を把握し、シティホテルやリゾートホテル等種類の違いを説明できる。
○					ホテルの組織を知り、役職名やその職域を理解し説明できるようになる。
○					宿泊、料飲、宴会の主要業務の基礎を学び、現場でのより専門的な業務について述べることができる。

テキスト・教材 参考図書

「現代ホテル理論」マーケティングオフィス（平成5年）、プリント

授業計画

回数	授業項目・内容	授業外学修指示
1	授業内容説明、評価方法　／　ホテルとは（日本のホテルと歴史）	授業内容の復習をしておくこと
2	代表的ホテル研究、比較①富士屋ホテル	授業内容の復習をしておくこと
3	代表的ホテル研究、比較②御三家ホテル	授業内容の復習をしておくこと
4	代表的ホテル研究、比較③新御三家ホテル	授業内容の復習をしておくこと
5	代表的ホテル研究、比較④ラグジュアリーホテル	授業内容の復習をしておくこと
6	シティホテルとリゾートホテル	授業内容の復習をしておくこと
7	ホテルの組織と役職	授業内容の復習をしておくこと
8	宿泊部門について（部署構成、客室タイプ、予約の流れ）	授業内容の復習をしておくこと
9	フロントサービス、フロント、コンシェルジュ	授業内容の復習をしておくこと
10	ハウスキーピング、その他の宿泊部門	授業内容の復習をしておくこと
11	料飲部門について①レストラン	授業内容の復習をしておくこと
12	料飲部門について②バーラウンジ	授業内容の復習をしておくこと
13	料飲部門について③フランス料理	授業内容の復習をしておくこと
14	料飲部門について④お酒	授業内容の復習をしておくこと
15	まとめ	

評価方法

(1)授業の中で小テストを2回実施する。 (2)レポートを数回実施する。
(3)定期試験（筆記）を実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。
成績評価基準は、S（90点以上）・A（80点以上）・B（70点以上）・C（60点以上）・D（59点以下）とする。

	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
定期試験	◎	○				50%
小テスト	◎	◎				30%
レポート提出	○	◎		◎		20%

履修上の注意

出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。

科目名	ホテルサービスA				
科目名(英)	Hotel service A				
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	木村　匡志
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験	外資系ホテルにて、料飲部門スタッフとして勤務
対象学科・学年	国際ホテル・リゾート科				
授業概要	ホテル業界で働くことを目指すにあたり、ホテルスタッフとして必要なホスピタリティ・マインドや立ち居振る舞い、言葉遣いを習得する必要性がある。この授業では、おもてなしについて深く考え、特にレストランスタッフにおいて求められる立ち居振る舞いや技術についてを基礎から学び、実践を通して身に付けることを目標とする。				
授業形式	講義:　△	演習:　○	実習:	実技:	※　主たる方法:○　その他:△

学習目標（到達目標）

言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
		○			ホテルスタッフに必要な基本動作を学び、実践することができる。
		○			ホテルスタッフに必要な言葉遣いを学び、基本動作と共に実践することができる。
		○			学んだ基本動作や言葉遣いを、レストランでのアテンドの場面で発揮することができる。
		○			テーブルセッティングやトレイサービスを決められた時間内に完了させることができる。

テキスト・教材 参考図書: なし

授業計画

回数	授業項目・内容	授業外学修指示
1	授業概要の説明、サービス・おもてなしについて	授業内容を復習しておくこと
2	サービス・おもてなしについて	授業内容を復習しておくこと
3	ホテルスタッフとしての立ち居振る舞い	授業内容を復習しておくこと
4	ホテルスタッフとしての正しい言葉遣い	授業内容を復習しておくこと
5	レストランでのアテンド（実技テスト練習1回目）	授業内容を実践的に復習しておくこと
6	レストランでのアテンド（実技テスト練習2回目）	授業内容を実践的に復習しておくこと
7	レストランでのアテンド（実技テスト練習3回目）	授業内容を実践的に復習しておくこと
8	実技テスト（レストランでのアテンド）	実技確認テストの準備をしておくこと
9	レストランスタッフに求められる技術（テーブルクロスのかけ方）	授業内容を実践的に復習しておくこと
10	レストランスタッフに求められる技術（トレイの持ち方）	授業内容を実践的に復習しておくこと
11	レストランスタッフに求められる技術（テーブルセッティング）	授業内容を実践的に復習しておくこと
12	テーブルクロス・テーブルセッティング・トレイ（実技テスト練習1回目）	授業内容を実践的に復習しておくこと
13	テーブルクロス・テーブルセッティング・トレイ（実技テスト練習2回目）	授業内容を実践的に復習しておくこと
14	実技テスト（テーブルクロス・テーブルセッティング・トレイ）	実技確認テストの準備をしておくこと
15	実技テスト（テーブルクロス・テーブルセッティング・トレイ）	実技確認テストの準備をしておくこと

評価方法

(1)授業の中で実技テストを2回実施する。
以上を下記の観点・割合で評価する。
成績評価基準は、S（90点以上）・A（80点以上）・B（70点以上）・C（60点以上）・D（59点以下）とする。

	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
実技テスト（レストランアテンド）			◎			40%
実技テスト（テーブルクロス・テーブルセッティング・トレイ）			◎			60%

履修上の注意: 授業欠課が6回以上になった場合は単位を与えない。

科目名	ホテルコミュニケーションスキルA				
科目名(英)	Hotel Communication Skill A				
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	秋本佐代子
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験	
対象学科・学年	国際ホテル・リゾート科　1年				
授業概要	ホテルで働くのには敬語の知識が不可欠であるが、この授業では場面に応じた基礎的な敬語の運用を学んでいく。普段の日本語科目授業では目にしない専門用語に触れ、覚えるだけでなく、適切なタイミングで即座に使用できるよう、音読練習やロールプレイ練習も取り入れていく。				
授業形式	講義:　△	演習:　○	実習:	実技:	※　主たる方法:○　その他:△

学習目標（到達目標）

言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
○	○				カジュアルな表現を敬語に変えて話すことができる。
○	○				お客さまを案内する簡単な英文を挙げることができる。
	○		○		お客さまに正しい順序でサービス内容を案内することができる。
		○	○		ホテルの場面に応じた表現を、動作と共に適切なタイミングで使うことができる。
○	○				ホテル業界についての講和を聞いた自分の意見を文章化することができる。

テキスト・教材 参考図書

参考図書　JAL ACADEMY 『サービス日本語～ホテルスタッフ編～』にほんごの凡人社（2003年）

授業計画

回数	授業項目・内容	授業外学修指示
1	接客のコミュニケーション	学んだ表現を音読しながらノートに書き写す。(0.5時間)
2	おもてなしの心を表す表現	学んだ表現を音読しながらノートに書き写す。(0.5時間)
3	行き届いたサービスの表現	学んだ表現を音読しながらノートに書き写す。(0.5時間)
4	よく使うことば	学んだ表現を音読しながらノートに書き写す。(0.5時間)
5	予約を受ける	学んだ表現を音読しながらノートに書き写す。(0.5時間)
6	チェックイン	学んだ表現を音読しながらノートに書き写す。(0.5時間)
7	部屋の案内	学んだ表現を音読しながらノートに書き写す。(0.5時間)
8	両替	学んだ表現を音読しながらノートに書き写す。(0.5時間)
9	チェックアウト	学んだ表現を音読しながらノートに書き写す。(0.5時間)
10	英語でチェックイン	学んだ表現を音読しながらノートに書き写す。(0.5時間)
11	英語で部屋の案内	学んだ表現を音読しながらノートに書き写す。(0.5時間)
12	ロールプレイ	ロールプレイの会話文を音読しながらノートに書き移す。(0.5時間)
13	ホテル業界について講和	講和中にメモした内容をノートにまとめ直す。(0.5時間)
14	講和の振り返り・これまでの復習	これまでの授業のノートで大事な部分を音読しながら覚えていく。(1時間)
15	実演テスト、レポート提出	これまでに学んだ表現を音読する。(0.5時間)

評価方法

1）レポート提出1回、 2）口頭テストを1回実施する
以上を下記の観点・割合で評価する。
成績評価基準は、S（90点以上）・A（80点以上）・B（70点以上）・C（60点以上）・D（59点以下）とする。

	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
レポート提出	○	◎		○		50%
実演テスト	○	◎		○		50%

履修上の注意

出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。
配布プリントはきちんとファイリングしておくこと。

科目名	ビジネスマナーA				
科目名(英)	Business manners A				
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	秋本佐代子
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験	
対象学科・学年	国際ホテル・リゾート科　1年				
授業概要	日本で働く上で知っておくべきビジネスマナーを事例と共に学んでいく。その際、なぜそのマナーがあるのかの理由を理解していくと共に、自国のマナーとの違いを説明できるようになることを目指す。				
授業形式	講義:　○	演習:　△	実習:	実技:	※　主たる方法:○　その他:△

学習目標（到達目標）

言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
○	○				日本のビジネスマナーについて説明することができる。
○	○				自国と日本のマナーの違いを説明することができる。
○	○				日本のビジネスマナーに対する自分の考え述べることができる。
○	○				位置情報を正しく相手に説明することができる。

テキスト・教材 参考図書

武田聡子・長崎清美 『留学生・日本で働く人のためのビジネスマナーとルール』
日本能率協会マネジメントセンター（2020年）

授業計画

回数	授業項目・内容	授業外学修指示
1	第1章1「日本人と働く心構え」	テキストをもう一度読み、「理解を深めましょう」ページの問題をもう一度解く。（1時間）
2	第1章2・3「上司・先輩・同僚との付き合い方）	テキストをもう一度読み、「理解を深めましょう」ページの問題をもう一度解く。（1時間）
3	第1章4「就業時間外の付き合い」	テキストをもう一度読み、「理解を深めましょう」ページの問題をもう一度解く。（1時間）
4	第1章5「ウチとソトの関係」	テキストをもう一度読み、「理解を深めましょう」ページの問題をもう一度解く。（1時間）
5	第1章6「チームワーク」	テキストをもう一度読み、「理解を深めましょう」ページの問題をもう一度解く。（1時間）
6	第1章7・8「配慮のある話し方と話の進め方」	テキストをもう一度読み、「理解を深めましょう」ページの問題をもう一度解く。（1時間）
7	フィールドワーク（周辺見学）	見学した場所の情報をノートにまとめる（1時間）
8	地図作成と場所の案内	場所の案内についての表現をノートにまとめて、音読する。（1時間）
9	第2章1「時間厳守」	テキストをもう一度読み、「理解を深めましょう」ページの問題をもう一度解く。（1時間）
10	第2章2「就業時間」	テキストをもう一度読み、「理解を深めましょう」ページの問題をもう一度解く。（1時間）
11	第2章6「報告・連絡・相談」	テキストをもう一度読み、「理解を深めましょう」ページの問題をもう一度解く。（1時間）
12	第2章7「情報管理」	テキストをもう一度読み、「理解を深めましょう」ページの問題をもう一度解く。（1時間）
13	第2章8「ハラスメント」	テキストをもう一度読み、「理解を深めましょう」ページの問題をもう一度解く。（1時間）
14	スピーチ動画作成	スピーチのテーマに関して自分の考えをノートにまとめる。（1時間）
15	筆記テスト・総復習	前期のテキストから大事だと思う部分をもう一度読み、ノートにまとめる。（1時間）

評価方法

(1)授業の中で筆記テストを実施する、 (2)スピーチ動画を提出する、
以上を下記の観点・割合で評価する。
成績評価基準は、S（90点以上）・A（80点以上）・B（70点以上）・C（60点以上）・D（59点以下）とする。

	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
筆記テスト	◎	◎				40%
スピーチ動画	◎	◎		◎		40%
レポート提出	◎	◎				20%

履修上の注意

出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。
テキスト持参のこと。忘れた場合は、授業前までにコピーをしておくこと。

科目名	サービス接遇A				
科目名(英)	Service Industry Skills　A				
単位数	2単位	時間数	30	担当者	秋本佐代子
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験	
対象学科・学年	国際ホテル・リゾート科　1年				
授業概要	サービス業に就くうえで必要なビジネスマナーの基礎知識や、優れたサービススタッフとしての心構えや立居振る舞いについて学ぶ。また専門用語や敬語を学ぶことで、日本語運用能力も高めていく。様々な事例に対してどう対応すべきか自分の意見を述べる力も養っていく。				
授業形式	講義:　〇	演習:　△	実習:	実技:	※　主たる方法:〇　その他:△

学習目標（到達目標）

言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	〇				毎回の授業のテーマについて大事なポイントを説明することができる。
	〇				お客さまへの正しい応対仕方について説明することができる。
〇	〇				5択の文章問題で、正解の理由を説明することができる。
	〇				サービスについて自分の考えをまとめて的確に表現することができる。

テキスト・教材 参考図書

公益財団法人 実務技能検定協会 『サービス接遇検定公式テキスト3級』 早稲田教育出版(2019)

授業計画

回数	授業項目・内容	授業外学修指示
1	サービススタッフの基本を考える	テキスト範囲を音読する。授業で解いた問題をもう一度解き、答えの理由をノートに書く。(1時間)
2	1. サービススタッフの資質(明るさと誠実さ)	テキスト範囲を音読する。授業で解いた問題をもう一度解き、答えの理由をノートに書く。(1時間)
3	1. サービススタッフの資質(適切な判断)	テキスト範囲を音読する。授業で解いた問題をもう一度解き、答えの理由をノートに書く。(1時間)
4	1. サービススタッフの資質(身だしなみ)	テキスト範囲を音読する。授業で解いた問題をもう一度解き、答えの理由をノートに書く。(1時間)
5	1. サービススタッフの資質(良識)	テキスト範囲を音読する。授業で解いた問題をもう一度解き、答えの理由をノートに書く。(1時間)
6	1. サービススタッフの資質(協調性)	テキスト範囲を音読する。授業で解いた問題をもう一度解き、答えの理由をノートに書く。(1時間)
7	ケーススタディとディスカッション	ディスカッションのテーマについて自分の考えをノートにまtめる。(1時間)
8	1. サービススタッフの資質(清潔感)	テキスト範囲を音読する。授業で解いた問題をもう一度解き、答えの理由をノートに書く。(1時間)
9	1. サービススタッフの資質(忍耐力)	テキスト範囲を音読する。授業で解いた問題をもう一度解き、答えの理由をノートに書く。(1時間)
10	2. 専門知識(サービスの意義)	テキスト範囲を音読する。授業で解いた問題をもう一度解き、答えの理由をノートに書く。(1時間)
11	2. 専門知識(サービスの機能)	テキスト範囲を音読する。授業で解いた問題をもう一度解き、答えの理由をノートに書く。(1時間)
12	2. 専門知識(サービスの種類)	テキスト範囲を音読する。授業で解いた問題をもう一度解き、答えの理由をノートに書く。(1時間)
13	4. 対人技能(人間関係)	テキスト範囲を音読する。授業で解いた問題をもう一度解き、答えの理由をノートに書く。(1時間)
14	これまでのまとめ・ロールプレイ	これまでの問題のポイントをノートに書いてまとめる。(1時間)
15	筆記テスト	筆記テストで間違えた問題を復習する。(1時間)

評価方法

(1)授業の中で筆記テストを1回実施する、(2)定期試験(筆記)を実施する、(3)
以上を下記の観点・割合で評価する。
成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。

	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
筆記テスト	◎	◎				50%
定期試験	◎	◎				50%

履修上の注意

出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。
テキスト持参のこと。忘れた場合は、授業前までにコピーをしておくこと。

科目名	観光英語A				
科目名(英)	Tourism English A				
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	秋本佐代子
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験	
対象学科・学年	国際ホテル・リゾート科　1年				
授業概要	観光の各場面で使う単語やフレーズを中心に紹介する。「読める・理解できる」レベルだけではなく、フレーズは自然に発話できるように練習していく。また、日本の各都市の観光地の案内文を、辞書を使いながら概要を理解し、日本語で簡単に説明できることを目指す。				
授業形式	講義:　○	演習:	実習:	実技:	※　主たる方法:○　その他:△

学習目標（到達目標）

言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
○	○				場面にあった適切な語句を選ぶことができる。
○	○				短い英文を日本語に訳すことができる。
○	○				日本語に合う正しい英語の語句を発話することができる。
○	○				比較的長い観光地案内文を読み、概要を日本語で説明することができる。

テキスト・教材 参考図書

参考　全国語学ビジネス観光教育協会編 『受験前にぜひチェックしておきたい頻出150項目』 全国語学ビジネス観光教育協会

授業計画

回数	授業項目・内容	授業外学修指示
1	基本語句	学んだ語句を音読しながらノートに複数回書いて覚える。(0.5時間)
2	基本文法　／英語の案内文読解(北海道)	学んだ語句を音読しながらノートに複数回書いて覚える。(0.5時間)
3	ホテルで使う基本語句／案内文読解(石川)／小テスト	学んだ語句を音読しながらノートに複数回書いて覚える。(0.5時間)
4	空港で使う基本語句／案内文読解(東京)	学んだ語句を音読しながらノートに複数回書いて覚える。(0.5時間)
5	レストランで使う基本語句／案内文読解(愛知)／小テスト	学んだ語句を音読しながらノートに複数回書いて覚える。(0.5時間)
6	交通に関した基本語句／案内文読解(京都)	学んだ語句を音読しながらノートに複数回書いて覚える。(0.5時間)
7	その他の基本表現と語句／案内文読解(沖縄)／小テスト	学んだ語句を音読しながらノートに複数回書いて覚える。(0.5時間)
8	テスト	これまでの語句をノートにまとめる。(1時間)
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

評価方法

1)筆記試験1回、 2)小テストを3回実施する
以上を下記の観点・割合で評価する。
成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。

	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
小テスト	◎	◎				50%
筆記試験	◎	◎				50%

履修上の注意

出席が6回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。
配布したプリントはきちんとファイリングしておくこと。